

## 隠岐水産高等学校入学に係る Q&A

オンライン高校説明会や過去に多かったご質問をまとめました。

### Q1. 病気になったとき、病院はありますか。

- A 本校には地元で開業しておられる学校医がおります。また隠岐病院という総合病院があります。  
通常は内科医である学校医に相談や受診しますが対応出来ないときは隠岐病院を受診します。  
隠岐病院には歯科もありますし島内に歯科医院もあります。  
受診に際しては、多くの場合養護教諭、担任、舎監長など本校教員が引率しています。

### Q2. コンビニが無いようですが子どもが使うお金はどこでおろすのですか。

- A 島内には山陰合同銀行や島根銀行の支店があります。また郵便局もあります。生徒はそれらの ATM を利用しているようです。  
ATM は、銀行の支店にもありますが、島内の比較的大きなスーパーにも設置されており利用できます。  
また、学校近くには簡易郵便局があります。通帳と印鑑があれば現金をおろすことができます。  
※ J A や J F も利用できます。

### Q3. 食物アレルギーを持っている場合乗船実習できませんか。

- A アレルギーの状況によります。  
練習船「神海丸」には 3 名の専属調理員が乗船しています。調理員が対応出来る範囲であれば乗船できます。  
過去、ソバアレルギーの生徒は“うどん”で対応しました。様々な状況がありますので、本校までご連絡いただきたいと思います。

### Q4. 寮生の 1 年生はホームシックになったりしませんか。

- A 本校の寮は原則二人部屋です。最初の頃 1 年生は上級生とペアを組むように配慮しています。また 5 月連休は帰省するように配慮しています。  
ホームシックになった生徒もいるかもしれませんが、それで学校生活に影響が出るような状況は見受けられません。

今年（令和 2 年度）は、新型コロナウイルス感染防止のため、5 月連休も開寮し多くの生徒に帰省を自粛していただきました。

**Q5. 2年次にハワイ方面への長期乗船実習をしなくても卒業できますか。**

- A 海洋システム科の乗船実習は本校教育の中核をなすものです。病気等をやむを得ない理由が無い限り乗船実習に参加することになります。

**Q6. 女子生徒の人数と入寮できないことはあるのですか。**

- A 女子生徒は本科で33名おります。また専攻科には3名の女子生徒が在籍しております。練習船神海丸には女子生徒用の設備（風呂、トイレ等）がありますので専攻科に進学することも可能です。

現在女子寮（定員6～10名）には4名の生徒がおります。来年度は6名程度まで入寮が可能と考えていますが男子と女子の入寮希望者に応じ、男子寮と女子寮の境目（パーティション）を移動させますのでこの数字は変わることがあります。

過去入寮希望者が入寮出来なかったことはありません。

**Q7. 島外生（男子）が入寮できないことはあるのですか。**

- A 過去、高校入試で合格した島外生が入寮できなかったことはありません。例年15名程度の入寮を予定しておりましたが次年度から専攻科生は寮以外の宿泊施設で生活することを計画しており次年度男子は、女子生徒の合格状況にもよりますが（Q6参照）ここ数年では最も余裕を持って対応出来る状況にあり22名から28名程度入寮可能と考えております。

**Q8. 専攻科生は入寮できないのですか。**

- A 数年前まで、すでに高校卒業している専攻科生は寮以外の下宿やアパートに住んでおりました。しかし現在隠岐の島町に下宿はありません。またアパートは数に限りがありまた家賃も専攻科生が支払うには高額です。やむを得ず専攻科生は入寮させてきました。しかしここ数年入寮希望の本科生が増えており対応に苦慮しておりました。

対応策として、隠岐の島町の協力を得まして島内にシェアハウスを確保できる見通しがたちました。また町から家賃の補助もなされることになりました。

そこで令和3年度から原則専攻科生は寮以外の宿泊施設で生活することを予定しています。

※専攻科女子については引き続き寮で対応いたします。

※専攻科1年次は乗船実習です。寮やアパートは必要ありません。

**Q9. 専攻科生はどのような実習をするのですか。**

A 専攻科の修業年限は2年間です。

1年次：大型水産練習船「神海丸」で乗船実習を行います。学校での座学はありません。

1学期：日本各地に寄港する国内航海を実施しています。2年間で日本一周することになります。

2学期：ハワイ方面へのマグロ漁業を中心とした航海実習を行います。ホノルルにも寄港します。

3学期：2学期と同様ハワイ方面への航海実習を行います。

2年次：1学期のみ1年生の専攻科生と一緒に乗船実習を行い、2学期、3学期は学校で国家試験に向けて勉強や就職活動を行います。

※島外出身の専攻科1年生は、アパート（住居）は必要ありません。乗船実習終了と同時に帰省することになります。

**Q10. 入学した後に転科はできますか。**

A できません。ですからオープンキャンパス等にぜひ参加いただき自分の進路をしっかりと確かめていただきたいと思います。

**Q11. 乗船実習で事故はありますか。**

A 事故が無いように細心の注意をはらっています。ここ数年乗船中に生徒が怪我をしたような事故はありません。

乗船前にインフルエンザに感染し乗船が遅れた生徒はおりますが、このような場合には生徒に不利にならないよう船舶の運航を修正することもあります。

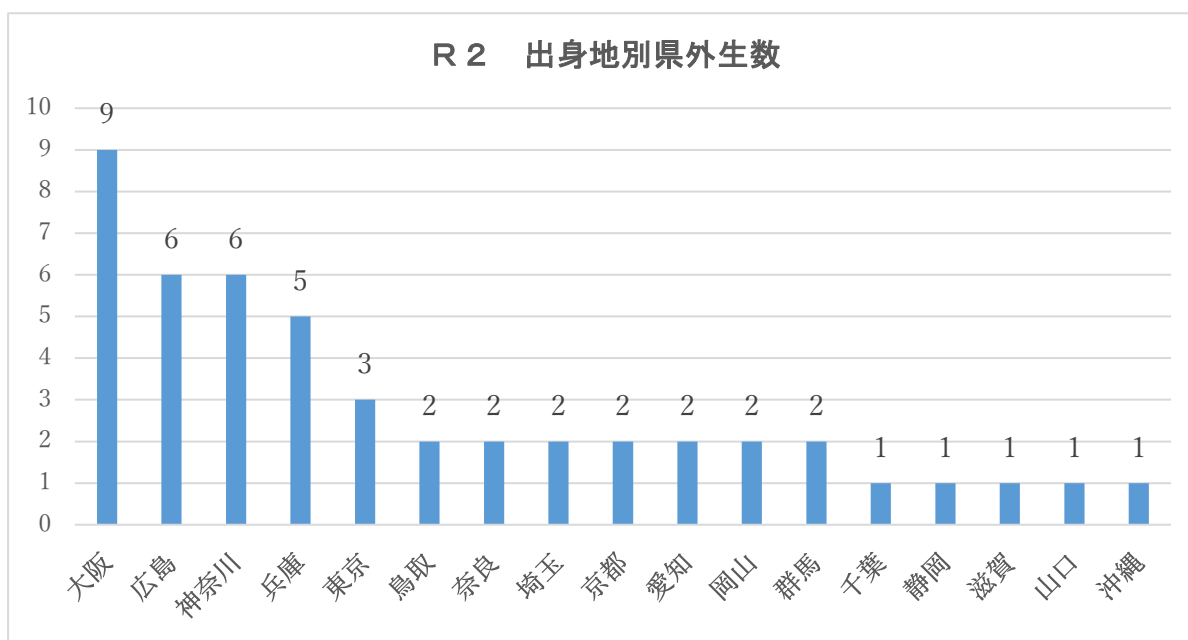
**Q12. 島内に知り合いがおりません。受検が可能でしょうか。**

A 県外生が受検する場合の身元引受人のことと思います。

受検は可能です。身元引受人についてはオープンスクールでも詳細を連絡いたします。またメールや電話等でも対応いたしますので受検が決まりましたらご相談ください。

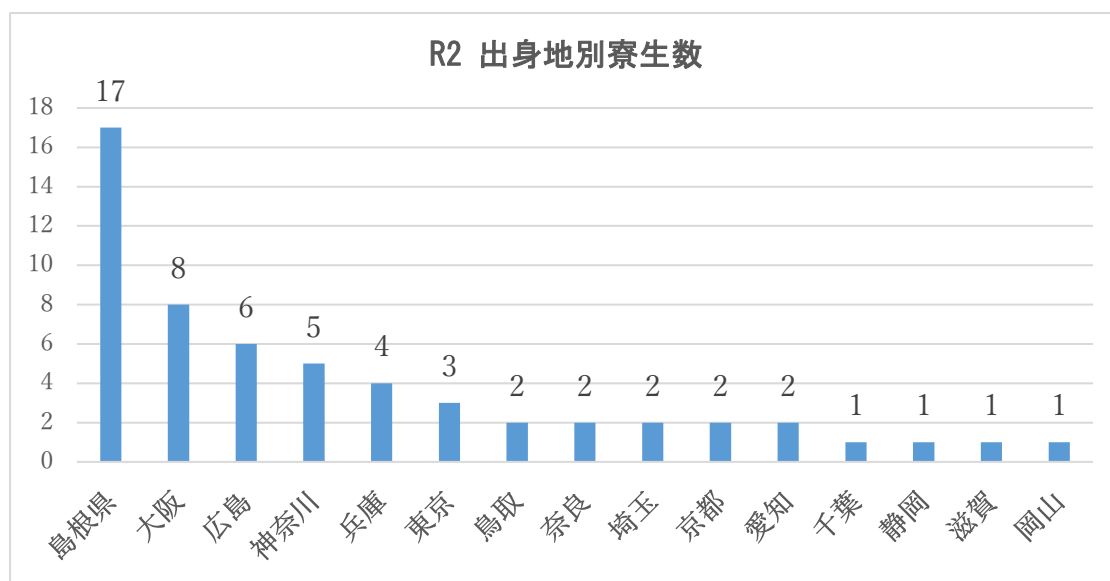
**Q13. 県外からの入学状況を知りたいです。**

- A 下のグラフをごらんください。  
17の都府県から48名の生徒が在籍しています。



**Q14. 寮生の出身地を知りたいです。**

- A 現在寮には57名の生徒が在籍しています。出身地別寮生数は下のグラフのとおりです。



※家族で1ターンにより転居、祖父母や親戚宅から登校している生徒もおります。また専攻科1年生は乗船中ですので県外生全員が寮に入っているわけではありません。

**Q15. 寮生は外泊できますか。**

- A 出来ます。  
ご家族や親戚が来島したとき、届けを出し外泊しています。

**Q16. 寮が閉寮になるときはいつですか。**

- A 5月連休、夏休み、冬休み、春休み期間中が閉寮になります。しかし国家試験等の受検のため補習が行われる場合は開寮する対応をとっています。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため5月連休中も開寮し帰省の自粛をお願いしました。

**Q17. 寮生は土日や連休に帰省できますか。**

- A 出来ます。  
届けを出し帰省します。しかし部活動や補習等があり週末や3日程度の連休で帰省する生徒はほとんどおりません。

**Q18. 寮費はいくらですか。寮費以外に必要な費用がありますか。**

- A 寮費、食費併せて 50,200 円/月です。隠岐の島町に住所を移すと町から 5,000 円/月の補助金が交付されます。  
食事は土日も含め 3 食提供されますのでお小遣い程度が必要になります。

**Q19. 寮生は、買い物はできますか。**

- A 出来ます。  
放課後や週末に買い物に出かけています。島内にはスーパーや電気店（ヤマダ電機など）もあります。またドラッグストアやホームセンターもあります。  
寮には定期的に主に食品を販売する移動販売車も来ますので生徒は利用しています。

**Q20. 寮生の昼食は弁当ですか。**

- A いいえ違います。  
学校の敷地内に寮があります。校舎から歩いて 2 分程度で着きます。寮生は昼食を寮に帰って食べています。  
休日の昼食は弁当（数種類から選ぶシステム）の日もあります。

**Q2 1. 学食はありますか。**

- A ありません。  
昼食時にはパンの移動販売車が来校します。通学生も寮生も購入できます。

**Q2 2. 乗船実習に必要な費用がありますか。**

- A ハワイ方面に向かう長期乗船実習に必要な費用はありません。食事も提供されます。ただし、ハワイ入港後研修を実施します。そのための見学費用や小遣いは自己負担になります。  
本校では入学後 1 年間毎月 1500 円の積み立てを行うことにしています。

**Q2 3. 研修旅行（修学旅行）はありませんか。**

- A 海洋システム科は 2 年次にハワイに入港し現地で研修を実施します。国内での研修旅行はありません。  
海洋生産科は 2 年次に国内研修旅行を実施しています。そのため積み立て（2,000 円～2,500 円/月）を行っています。隠岐の島町から補助もあります。  
令和元年度は関西方面で企業見学等を実施しました。令和 2 年度は新型コロナウイルス感染防止のため実施時期、場所等検討中です。

**Q2 4. 受検は隠岐水産高校で行われますか。**

- A 推薦入試は隠岐水産高校で実施しています。  
一般入試は、隠岐水産高校と島根県松江市にある松江北高校を会場に実施しています。  
令和 3 年度高校入試の要項は 11 月中旬頃に発表になりますのでその時に改めて確認が必要です。特に新型コロナウイルス感染防止対策のため例年と異なる対応をとる場合が考えられます。

**Q2 5. 各コースの定員を教えてください。**

- A 海洋システム科（定員 40 名）：2 年次に海洋テクノコースとエンジニアコースに分かれます。いずれのコースも生徒数の 50%程度を目安としています。

海洋生産科（定員 40 名）：2 年次に食品生産コースと資源生産コースに分かれます。食品生産コースは生徒数の 75%程度を資源生産コースは生徒数の 25%程度（最大 10 名）を目安にしています。資源生産コースの施設・設備は最大 10 名まで対応できます。

**Q26. 神海丸による乗船実習はいつあるのですか。**

- A 海洋システム科2年生は、大型水産練習船「神海丸」に乗船し、海洋観測やマグロ漁業実習を行います。その際、ハワイホノルルに寄港します。

海洋システム科2年生は、浜田水産高校本科生と交互に乗船します。

令和2年度：二学期 浜田水産高校、三学期 隠岐水産高校

令和3年度：二学期 隠岐水産高校、三学期 浜田水産高校

令和4年度：二学期 浜田水産高校、三学期 隠岐水産高校

※令和2年度の寄港地は新型コロナウイルス感染防止のため変更になる可能性があります。

**Q27. 船酔いが心配です。**

- A 多くの生徒が船酔いを体験します。  
本校では、カッター、ヨット、バナナボートなど海に慣れるための実習や小型船による操船実習など、沿岸から沖合へ、小型船から大型船へ段階を踏んで訓練を重ねます。そして、ハワイ方面への長期航海実習開始時には、神海丸で短期の乗船実習を行った後出発いたします。  
ハワイから帰港した生徒は皆船酔いを克服しています。

**Q28. カッターを漕ぐとお尻の皮がむけるのですか。**

- A 初心者は、長時間一生懸命漕ぐとむけることがあります。また手にはマメができます。

**Q29. 乗船実習中に病気になったときはどうしますか。**

- A 乗船前に、校医による健康診断を全員受診していただきます。  
乗船中体調不良になった場合、船内には医療行為が出来る資格をもった衛生管理者が配置されております。衛生管理者は学校や校医と連絡をとり、必要な処置をとります。  
長期航海実習中、船内で対応できない場合は近くの港に緊急的に入港しますが、現神海丸においてそのような事例はありません。  
船内には、専用の病室もあり、ある程度の医薬品も完備されています。

Q30. 個人的に使うお金は別にして授業料以外に月どれだけのお金がかかるのでしょうか。また課外授業での費用はどれくらいでしょうか。

A 海洋システム科、海洋生産科ともに授業や実習を行うにあたり費用を徴収することはありません。

本校の大きな特徴として、資格取得に力を入れております。国家試験や検定を受検する場合には受検料が必要になります。この受検料は自己負担になります。

参考として本校で毎年受検しております資格の一部ですが、現在（令和2年7月現在）の国家試験受検料を記載しておきます。また国家試験によっては島外や県外で受検しなければならないものもあります。その場合の交通費や宿泊費は自己負担になります。

危険物取扱者国家試験	4,600円
4級海技士国家試験	3,500円
3級海技士国家試験	5,400円
第二種電気工事士	9,300円（ネット申請）
二級ボイラー技士 筆記	6,800円
第三種冷凍機械取扱責任者	7,900円
栽培漁業技術検定1級	2,000円
栽培漁業技術検定2級	2,000円

※受検料は全国一律の金額です。

※他にも多くの資格を受検しております。

Q31. サバ缶を生徒は購入できますか。

A 生徒（在校生）は購入できます。

購入希望者は事務室か製造実習棟の教員に申し込み購入しています。ただし、本校の人気商品です。売り切れにより在庫が無い場合もあります。また水高祭など大きなイベントの前には、一時的に校内販売を中止するときもあります。